グリーンインフラ・自然資本マネジメント

自治体職員向け 人材育成講座

共　催｜一般社団法人 環境情報科学センター（CEIS）

SIP 第 3 期 サブ課題 e-1 グリーンインフラ PJ

令和 8 年度 後期（2026 年 12 月～2027 年 2 月）

1．開催趣旨

2030 年に向けて自然の損失を止め回復に転じさせる「ネイチャーポジティブ」の実現が国際的な潮流となる中、国土交通省のグリーンインフラ推進戦略 2030 が掲げる「グリーンインフラの活用が当たり前の社会」の実現には、地方自治体における計画策定・評価・実装を担う人材の育成が必要です。

内閣府 SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）第 3 期のサブ課題 e-1「魅力的な国土・都市・地域づくりを評価するグリーンインフラに関する省庁連携基盤」では、デジタル技術を活用した自然資本マネジメントの普及・活用に関する研究を進めています。

本講座は、内閣府 SIP 第 3 期 サブ課題 e-1　プロジェクトと一般社団法人環境情報科学センター（CEIS）の共催により、次の 5 つの観点について、講義とワークショップを組み合わせて全 6 回で学びます。①自然資本マネジメントとは何か、②先進地域の実装事例から何を学ぶか、③データをどう活用するか、④グリーンインフラ（GI）の機能をどう評価・認証するか、⑤行政運営（計画・制度）にどう組み込むか、です。多数のお申し込みをお待ちしております。

2．講座の概要

（1）名称

「グリーンインフラ・自然資本マネジメント　自治体職員向け人材育成講座」

略称：GI・自然資本マネジメント講座

（2）実施概要

回数・形式	全 6 回・オンライン（夕方開催）

日　時	令和 8 年度後期（2026 年 12 月 7 日～2027 年 2 月 8 日）（2 回／月） 第 1 回　2026 年 12 月 7 日（月）　GI・自然資本マネジメント概論 第 2 回　2026 年 12 月 14 日（月）　印旛沼流域に学ぶ GI 実装 第 3 回　2027 年 1 月 18 日（月）　GI のデータ活用の取り組み方 第 4 回　2027 年 1 月 25 日（月）　GI 機能の評価と認証の考え方 第 5 回　2027 年 2 月 1 日（月）　行政運営（計画・制度）での取り組み方 第 6 回　2027 年 2 月 8 日（月）　行政運営のイメージワークショップ
各回の時間	各回　18:00～19:30（90 分：講義・話題提供と質疑・意見交換）
共　催	● 一般社団法人 環境情報科学センター（CEIS） ● SIP 第 3 期 サブ課題 e-1 グリーンインフラ PJ（研究代表：村上暁信・筑波大学） 運営責任・進行：朝廣和夫　九州大学芸術工学研究院　教授 運営サポート：金沢電子出版株式会社
参加者	30 名 • 地方自治体職員（実務担当者層・マネジメント層） • CEIS 会員・非会員を問いません • 自治体支援に携わる民間・NPO・研究機関の関係者 （なお、応募者多数の場合は、CEIS 会員（社会人会員）および自治体職員を優先します。ご参加いただけないことがありますので、予めご了承ください。）
参加費	4,500 円（全 6 回分、CEIS 会員・非会員共通） お申し込み後、CEIS から参加確認のお知らせが届きましたら、受講料は、第 1 回（12 月 7 日）までに総額をお支払いください。 支払い方法については、CEIS の Smoosy システムを使用していただきますが、詳細については別途連絡を差し上げます。 なお、途中で参加中止の場合は、原則として返金はいたしませんのでご注意ください。
修了証の発行	6 回中 4 回以上の参加をいただくと、修了証を共催者より発行します。 欠席された回については、2027 年 2 月 15 日までにレコーディング動画を視聴し、事後アンケートの回答をもって受講されたこととします。

参加方法	2026 年 11 月 20 日（金）までに以下の HP から、参加登録をお願いします。 https://gi-ncm.sakura.ne.jp/seminar2026/ 注：申込フォーム内の事前アンケートにもご回答ください 11 月 27 日（金）までに参加の可否をご連絡いたします。 注：定員に余裕がある場合は、回ごとに追加募集を行うことがあります。 HP から登録ができない方は、別途、お問い合わせください。
問合せ先	研修サポート係（金沢電子出版株式会社） E-mail: kenshu-support@kepnet.co.jp
録画・公開	講座は、Zoom レコーディングを行います。 動画の公開範囲は、受講者と関係者に限り、2027 年 3 月末まで限定公開します。
参　考	● 一般社団法人環境情報科学センター（CEIS）について 環境情報科学センターは、環境情報科学に関する学術活動とコンサルティングを行っている一般社団法人で、年に一度の環境情報科学研究発表大会を開催するとともに、日本語と英語での学術誌を発行している学術団体（学会）です。700 名以上の多くの研究者、教員、学生が会員として活動に参加しています。 https://www.ceis.or.jp/ ● SIP 第 3 期 サブ課題 e-1 グリーンインフラ PJ SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）第 3 期サブ課題 e-1 は、内閣府が推進する研究開発プロジェクトで、デジタル技術を活用した自然資本マネジメントの普及に向け、グリーンインフラの評価・認証・地域実装の手法を研究しています。筑波大学の村上暁信教授を研究代表とし、全国の大学・研究機関・企業の研究者が参画し、自治体向けの手引き作成や人材育成にも取り組んでいます。 https://sip-gi-project.org/

3．プログラム（全 6 回）

実施日・テーマ	内容概要・講師
【第 1 回】 2026 年 12 月 7 日（月） GI・自然資本マネジメント概論	・　挨拶（村上） ・　本講座の目的・進め方（朝廣） ・　グリーンインフラの概要（意味・機能・しくみ・国際動向・評価手法）（中村） ―――――――――――――――――――――――― 村上 暁信 （筑波大学 システム情報系　教授） 中村 圭吾 （国立研究開発法人 土木研究所 流域水環境研究グループ　グループ長）
【第 2 回】 2026 年 12 月 14 日（月） 印旛沼流域に学ぶ GI 実装	・　千葉県印旛沼流域を事例に、流域氾濫モデル、資金メカニズム、制度・ルールを組み合せた、グリーンインフラの実装の取組紹介（西廣） ・　ランドスケープマネジメントセンター（LMC、中間支援組織）のイメージと事例（西廣） ・　デジタルツインによるグリーンインフラの可視化技術（大槻） ―――――――――――――――――――――――― 西廣 淳（国立環境研究所 気候変動適応センター　副センター長） 大槻 順朗（山梨大学大学院総合研究部 工学域 土木環境工学系　准教授）
【第 3 回】 2027 年 1 月 18 日（月） GI のデータ活用の取り組み方	・　省庁が整備するデータ基盤、自治体が整備したデータ等を取りまとめ、計画立案で活用し、施策の説明力を高める意義（高取） ・　整備したデータ、オープンデータを GIS で地図上に重ね合わせて表現するツールの利用方法（大澤） ・　緑による暑熱緩和の行政支援ツールを用いたポテンシャル評価（中大窪） ―――――――――――――――――――――――― 高取 千佳（東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻　准教授） 大澤 剛士（東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 観光科学域　准教授） 中大窪 千晶（佐賀大学理工学部 理工学科 都市工学部門　准教授）
【第 4 回】 2027 年 1 月 25 日（月） GI 機能の評価と認証の考え方	・　グリーンインフラの機能とウェルビーイングへの寄与の評価（吉田） ・　グリーンインフラ認証とその活用可能性（全体と個別事業の計画・管理）（西田） ―――――――――――――――――――――――― 吉田 丈人（東京大学大学院農学生命科学研究科　教授） 西田 貴明（京都産業大学生命科学部 産業生命科学科　教授）
【第 5 回】	・　自治体でグリーンインフラを導入・活用するステップ（小笠原）

実施日・テーマ	内容概要・講師
2027 年 2 月 1 日（月） 行政運営（計画・制度・事業）での取り組み方	・　世田谷区におけるグリーンインフラの計画への位置づけと官民連携（福岡） ―――――――――――――――――――――――― 小笠原 奨悟（パシフィックコンサルタンツ株式会社　環境共生部　チーフコンサルタント） 福岡 孝則（東京農業大学 地域環境科学部 造園科学科　教授）
【第 6 回】 2027 年 2 月 8 日（月） 行政運営のイメージワークショップ	・　行政運営のイメージ：自然資本マネジメントにおける意思決定と対策実行（神井） ・　自分の自治体でグリーンインフラを動かすには（グループディスカッション・共有）（朝廣、神井、丸木） ・　総括（修了証は後日送付） ―――――――――――――――――――――――― 神井 弘之（日本大学大学院 総合社会情報研究科　教授） 丸木 英明（株式会社アール・ピー・アイ　業務執行役員） 朝廣和夫（九州大学芸術工学研究院　教授）